

あなみず議会だより

2019 vol. **30**

令和元年 11月1日発行
石川県穴水町議会



中学生議会



あなみず 議会だより

中学生議会

10月1日(火)に開催された中学生議会
穴水中学校3年生の生徒15名が質問した。

内容一覧

- 補正予算・議員研修・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 常任委員会・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
- 議案審議・・・・・・・・・・・・・・・・ P4
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・ P5～10
- 中学生議会・・・・・・・・・・・・・・・・ P11～12

一般質問全文は穴水町公式ホームページに記載してあります。

URL <http://www.town.anamizu.ishikawa.jp/gikai/gikai.html>

補正予算の概要【令和元年度9月補正】

一般会計

当初予算額 **6,715,000千円**

補正額(7月・9月補正) **211,035千円**

補正後合計額 **7,242,375千円**

※主な歳出の内容

道路更新防災等対策事業
52,600千円

基盤整備課

町道乙ヶ崎鹿島線法面保護工事で、本工事費(40,400千円)や調査設計費(9,000千円)等によるもの。

体育施設管理費
78,375千円

教育委員会
事務局

フィットネスジム改修工事費(62,687千円)やトレーニング器具購入費(13,325千円)等によるもの。

現年度農林災害復旧事業費
28,318千円

基盤整備課

6月29日からの大雨による農林災害被害復旧で、林道(5件7,760千円)、農地(10件4,467千円)、施設(14件16,091千円)によるもの。

プレミアム付商品券事業
13,258千円

産業振興課

低所得者・子育て世帯を対象とした、現金20,000円で25,000円の商品券が購入できるもの。

穴水町議会運営委員会行政視察研修会報告

視察先：神奈川県葉山町議会・三浦市議会

日程：令和元年7月22日～24日

穴水町議会は、議会活性化を推進するために一般質問の1問1答・全問一括方式、一般質問をYoutubeに配信、議会だよりを年4回発行、町内各団体と意見交換会の実施、委員会の公開実施等に取り組んできました。昨年の各種団体との意見交換会で、議会だよりは、読みづらい・余り読まない。議会活動が町民に伝わっていないのではないか等のご意見をいただきました。

このたび、当町の議会活性化を更に推進するために①議会改革の取組②議会モニター ③議会だより ④議会基本条例などについて、行政視察研修を実施しました。

このたびの、行政視察研修の取り組みを参考にさせていただきながら、今後町民に開かれた議会を目指して、議会改革に取り組んでまいります。

(文責：湯口かをる)





常任委員会とは

議会や請願・陳情を審査するため、法律に基づいて設置される委員会で、穴水町には産業や税、施設等を扱う「総務産業建設常任委員会」と教育や福祉などを中心に扱う「教育民生常任委員会」の2つがあります。

総務産業建設常任委員会 ～主な質疑内容～

●宇留地浄水場について

宇留地浄水場工事はどのような状況か。

当初建設から非常に歳月が流れた宇留地浄水場については、上野浄水場と共に、重要且つ必要な施設であることから、計画を持って再整備し、町民の安心安全な暮らしを守るよう努力する。

●新規開業補助制度について

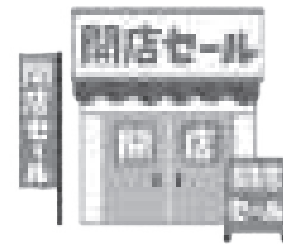
新規開業補助制度についてはどうか。

起業者のやる気と熱意をくみ取りながら、経営能力や市場性をしっかり調査し、申請さえすれば補助が受けられるといった安直な事務はさけ、しっかり審査決定する。

●地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊の身分の扱いについてはどうか。

地域おこし協力隊身分は、非常勤の地方公務員として、それに見合う保障と、任期満了時には、当町に定住してもらう為の準備が出来るよう、しっかりとしたバックアップ体制を確立しておくこと。又、資格取得者にはそれなりの報酬を考える。



教育民生常任委員会～主な質疑内容～

●幼児教育・保育無償化について

幼児教育・保育無償化をどうするか。

幼児教育・保育無償化に伴い実施する副食費の無償化は大変結構な施策であるが、町の全ての幼児にその恩恵が行き渡るよう、更なる子育て支援施策を講ずる。

●防犯カメラの設置について

防犯カメラの管理については？

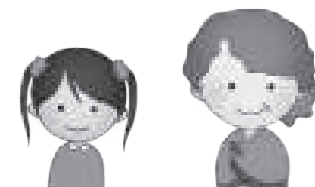
交差点での出会い頭の交通事故や、犯罪捜査の助力となるべく、映像での記録情報が重要視される中、今回設置される防犯カメラは、非常に有効で、町民に安全・安心を与える器具の一つであるので、今後も更なる検証を実施し、全町域に普及出来る様に検討する。

●フィットネスジムについて

フィットネスジムの利用料はどうか。

フィットネスジムの利用料金や、開館時間などについては、利用者に配慮した設定と運営が求められる。更には、自己流では無く、しっかりとしたトレーナーによる運動指導が受けられて、着実に健康長寿の町としての活気が溢れる施設運営を心がける。

ジムを楽しみにしている町民が多いようだよ～



令和元年第5回 穴水町議会9月定例会 議案一覧

令和元年9月4日から13日にわたり審議された議案の結果は以下のとおりになります。会議録の内容につきましては【穴水町公式ホームページ＜行政情報＞穴水町議会】に掲載しています。(http://www.town.anamizu.ishikawa.jp/gikai/gikai.html)

議案番号	件 名	可 否	摘 要
議案第 36 号	穴水町教育委員会委員の任命について	原案同意	
議案第 37 号	令和元年度穴水町一般会計補正予算（第3号）	原案可決	
議案第 38 号	令和元年度穴水町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第 39 号	令和元年度穴水町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	全員賛成
議案第 40 号	穴水町印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 41 号	穴水町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 42 号	穴水町消防団条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 43 号	奥能登広域圏事務組合理約の変更について	原案可決	
議案第 44 号	平成30年度穴水町一般会計歳入歳出決算認定について		継続審議
議案第 45 号	平成30年度穴水町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		継続審議
議案第 46 号	平成30年度穴水町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		継続審議
議案第 47 号	平成30年度穴水町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		継続審議
議案第 48 号	平成30年度穴水町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		継続審議
議案第 49 号	平成30年度穴水町病院事業会計歳入歳出決算認定について		継続審議
議案第 50 号	平成30年度穴水町水道事業会計歳入歳出決算認定について		継続審議
発議第 2 号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書等の提出について	原案採択	全員賛成
議会報告第4号	例月出納検査の結果報告について		
議会報告第5号	平成30年度（一財）穴水町文化・スポーツ振興事業団事業報告及び決算の報告について		

一般質問は YouTube でもご覧いただけます。
【穴水町議会 → 町議会会議録 → 一般質問動画】で検索。



●複式学級の現況について ●再任用について

複式学級の現況について

複式学級を有する学校における現況はどうか。生徒数・学級編成等の状況をお聞きする。以前に複式学級の状態になった時、速やかに対応する事と聞いていたが現在に至るまでに複式学級の特長やメリット・デメリットも含め色々な問題があったと思うが、それらのことについて保護者や地域の方々に説明や意見交換・相談が充分なされたのか、複式学級の利点を検証したか、今後どの様にお考えか。概略で結構だが内容をお伺いたい。私の個々の思いとしては、大きな学校にない複式学級の特長である良いところを活かしてデメリットをプラスに転じる創意工夫で複式学級を目指すことも視野に入れて考えてほしい。現状における保護者や生徒の声を聞いてほしい。



尚、関連している事項としてお聞きするが小中学校一貫も既に考えているのか。考えているなら事を進めるにあたっては、地域の人や保護者等多くの人の意見や協力が必要と考えますが如何か。広範囲からの通学は低学年にとつて通学時間や距離等多岐にわたり考慮しなければならぬ問題はどうすればいいのか？いじめや不登校等考えられる問題の解決策も念頭に置いて、前の中学校統廃合の事を鑑み、プロジェクトチームを立ち上げる必要があると考えが如何か。

教育長

現在向洋小学校において、3・4年生及び5・6年生で複式学級を編成しており、今後児童数の推移からみても複式学級の編成は必要であると見て取れる。

また、小学校の学級編成の標準としては、法の定めにより、同学年の児童で編成する学級は4

0人、2つの学年の児童で編成する学級は16人と定められている。

次に、少人数学校や小規模校の長所としては、個に応じた指導がしやすい、柔軟な指導方法や形態がとれる、地域と一体となった教育がしやすいという一面と、児童においては純朴で素直である、上級生が下級生の世話を良く行う等の利点があるかと思われる。本町の小中学校の児童生徒数は、昭和30年の4373人をピークに年々減少し、平成30年では427人、令和5年では小学校で215人、中学校では117人、合わせて332人と予測しており、減少状態を踏まえると小学校の統合は避けては通れない課題であると認識している。将来を見据え今後の方向性について検討していく。統合を検討するにあたっては、児童への適切な教育環境の提供を最優先とし、通学手段の確保等幅広く検証し、地域や保護者の皆様にも説明していきたいと考えている。

併せて、統合後の校舎の利活用策についても、並行して検討すべきものであると認識しているところ。

小中一貫校ですが、県下で実施しているのは極端に児童数が少ない学校であり、当町では現在のところ考えていない。しかし将来児童数の減少に伴い学校

施設の在り方も含め考えなければならぬと考えている。

再任用について

再任用は特別支給の退職共済年金との関連から年齢が定められていると認識していたのだが、当町の取組みの現況と今後についてお伺いする。

総務課長

平成13年度から始まった公的年金の基礎年金相当部分の支給開始年齢の65歳への段階的な引き上げに対応し、同年度に60歳定年後の継続勤務のための任用制度として新たな再任用制度が施行され、職員の再任用を行ってきたところ。現在も再任用対象者には毎年「再任用意向申出書」を提出していただき、フルタイムを基本とし個人の事情により短時間の再任用も行っている。

また、現時点での再任用制度は、人事における組織活力を維持しつつ職員の能力を十分活用し行政業務を執行するため導入しているもので、穴水町職員の再任用に関する条例第4条に再任用の任期の末日は65歳に達する日以後における最初の3月31日となっていますので、条例に沿って任用を行っているところ。

その時点の状況に応じ65歳までの再任用を考える。

●「第2のふるさと」提案事業について ●「そば処・大仏庵」について ●合葬墓整備についての見解と 町民の意見の聴取手続きについて

「第2のふるさと」提案事業について

先日の松岡監査委員の監査報告で「付加価値等の算定結果の公表は無く、昨年度の委託料324万円は無用の支出と判断されますと厳しく指摘された。事業の展開について聞く。

第1に、参加を募るターゲットをどこに照準を合わせているのか。第2に、町としてどのようなメリットを期待し、参加者にどんなメリットを提供する計画か。第3に、システムの運営をどこが行うのか。これまでの経過と併せて方針を聞く。

産業振興課長

ふるさとを持たない人、求めている人を対象としている。長期滞在型の観光客の拡大を図るとともに、持続的な関係性を築き、町の産業振興に繋げていきたい。運用については、これらの顧客の詳細データを一元管理す

る顧客情報管理システムの構築が必要であり、町が管理・運営し、その後、町・商工会・観光物産協会などの運営母体を構築し移行して行きたい。外部委託料については、現時点では把握していない。

「そば処・大仏庵」について

監査委員はさまざまな計画による当初所要資金の膨張という過失の責任を問い、更に人件費も捻出できない売上げの現状に対して改善勧告をしている。この指摘をどのように受け止めているのかを聞く。

石川町長

大変厳しいご意見であり、真摯に受け止めている。例年、議会

において「決算審査特別委員会」を設けて慎重にご審議を頂いてきたところであるので、その場においてご指摘の件を含めて幅広くご審議をして頂き、改善策など必要な点については、適切に対応して行きたい。



この状況のままでの経営存続は不可能だ。町としても大仏庵に改善への助言や助力をし、町の施策として町内外の人たちが真和園に足を運ぶ手を打つ必要があると思う。以上についての考えを聞く。

政策調整課長

町の新しい観光の目玉として整備を続けている「能登長寿大仏」を中心とした「真和園」全体についても、遊歩道や渡橋の修繕も完成したことから、より多くの人に足を運んでいただくためにも、新しいポスターの作成やSNSの活用も含め、あらゆる手段を講じて「能登長寿大仏」の素晴らしさを伝えるためにも、より一層PRに力を入れていきたい。

町内外に向けたイベントや宣伝が必要だと思う。整備された真和園のお披露目を兼ねて、「里山里海遊歩道」も歩いてもらい、両方の魅力を実感していただけるよう、ここでもウォークラリーを行い、大仏庵周辺に屋台を出して賑わいを演出し、大仏庵で蕎麦を味わっていただくという企画は如何か、感想を聞く。

政策調整課長

観光物産協会や「のと鉄道」などの観光関連機関などと「能登長寿大仏」の売り出し方法や宣伝方法について、検討する場を設けたいと考えており、その中で誘客力の高いイベント開催や

町ウォーキング協会のご協力をいただいで、完成した遊歩道を活用したウォーキング大会を開催するなど、さらなる誘客に向けて努力して参りたい。

「合葬墓」について

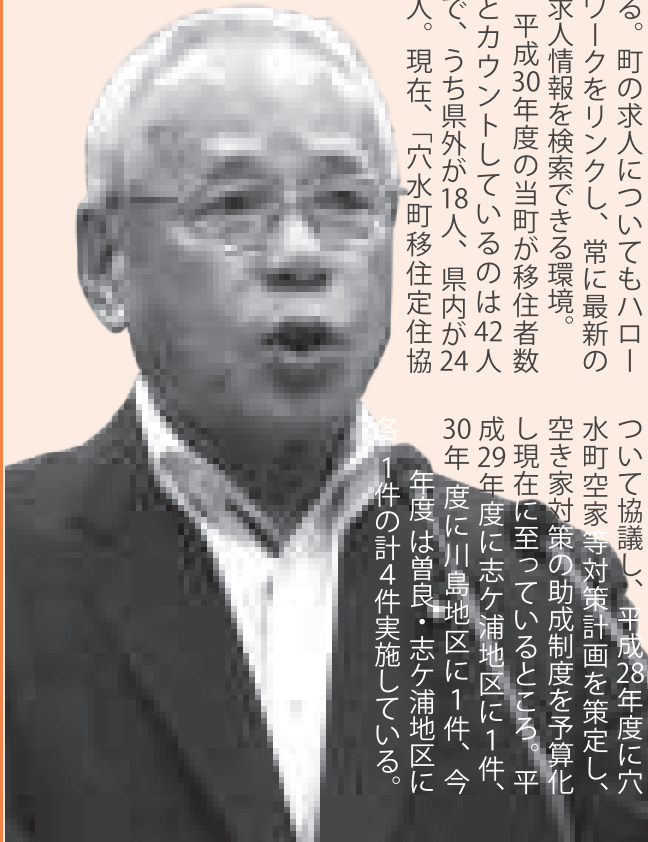
穴水町においては合葬墓についての理解が十分でなかった3月から半年が経過し、執行部でも調査研究され、今度は十分に理解されていると推測する。東京に無いものを穴水町に造りそれを提供することで、東京都民が喜び、真和園が賑わい、穴水町が潤うという、三方よし・トリプルウィンの関係が構築できるのではないかと考える。いま一度現時点での合葬墓整備についての見解と、町民の方々のご意見の聴取手続きについて聞く。

生活環境課長

今のところ直接町民からそういった要望は伺っていないが、今後、継承者がいなくなることにより無縁墓地になることへの不安や、そのことによる環境悪化も心配される場所であり、先進地である津幡町と内灘町の整備後の状況について伺ったところであり、まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画策定にあたり町民の皆様方に、この合葬墓についての意見を盛り込んだアンケート調査を行い、その結果を踏まえ検討したい。

伊藤 繁男

- 移住定住について
- 空き家対策について
- 除雪体制について
- 入浴サービスについて
- 読書通帳について



移住定住について

若者就職支援策は、どの様になっているか。希望者が遠隔地から、インターネットや電話などで、仕事、住宅、環境などを、知ることが出来るようになっていくのか。昨年度の移住者数は、何名なのか。町の移住定住促進協議会の、現在の会長はどなた様で、本年度の数値目標は、どのようになっているのか。

政策調整課長

移住定住をご案内する「六水町で暮らしてみませんか」というサイトを立ち上げ、町の環境や制度、空き家情報、セミナーの案内等を掲載、更新をしている。電話対応についても常に丁寧にわかりやすく対応をしている。町の求人についてもハローワークをリンクし、常に最新の求人情報を検索できる環境。

平成30年度の当町が移住者数とカウントしているのは42人で、うち県外が18人、県内が24人。現在、「六水町移住定住協

議会」の会長は、町商工会長で、数値目標については、平成31年度末までの5年間に「子育て世代の移住世帯数」20世帯が目標だが、平成30年度末現在で既に26世帯の移住がある。

空き家対策について

六水町空き家対策協議会は、どのようになっているのか。老朽危険空き家の除却事業は、どのような状況か。特に、諸橋・宇加川の県道沿いの物件について、住民に分かり易く説明をお願いする。

生活環境課長

平成26年度に協議会を設立し、平成27年・28年度においても協議会を開催し、放置された空き家等に対し適正管理・利活用について協議し、平成28年度に六水町空き家等対策計画を策定し、空き家対策の助成制度を予算化し現在に至っているところ。平成29年度に志ヶ浦地区に1件、30年度に川島地区に1件、今年度は曽良・志ヶ浦地区に1件の計4件実施している。

宇加川地区の物件は、相続人に
対し、大変危険な状況を説明し対

応をお願いしている状況だがご理解に至っていない。今後も引き続き適正な管理をして頂くようお願いしていきたい。

政策調整課長

平成27年度からの4年半で35件賃貸や売買としての成立件数は内11件。平成30年度以降の登録は19件で、成立件数も10件。少しずつ「空き家バンク制度」の成果が現れている。現在、「六水町移住定住促進協議会」と宅地建物取引士の免許を有する移住相談員と町との三者で業務契約を結び、相談員が空き家の賃貸、売買の権利関係の調査、賃貸料、売買価格の査定、契約の仲介等の業務を行い、協議会職員と政策調整課職員がその補助業務を行っている。8月23日には県内初となる、「商工会・金融機関・町」の間で移住定住の促進、空き家対策を中心とした「地方創生に係る包括連携協定」を締結した。

除雪体制について

全消防分団に除雪機を配備した
らいか。除雪機を購入または
借り上げる全町内会へ、一定の
成率で補助する制度を要綱で定
めたい。中学校横の山王川

の中に残っている、旧能登線の橋脚の撤去をどのようにお考えか。

基盤整備課長

除雪機の分団への配備や除雪機購入の補助制度を含めた除雪体制については、地域連携での取り組みや除雪作業の省力化などの検討を行いながら持続可能な体制づくりに努めていく。橋脚の撤去は町としても早期に撤去を進めていくよう働きかけを行う。

入浴サービスについて

高齢者や温泉好きの人にも利用できるようなサービスの工夫をしたらどうか。

健康推進課長

町では介護予防や健康維持を図るために、様々な活動を行っており、高齢者に対する入浴サービスについても、効果のある運用を検討したい。

読書通帳について

図書館から読書通帳を発行したらどうか。また、ポイント制にしてはどうか。

教育委員会事務局長

図書館は読書の推進を図るための取組みとして、新たなイベントの開催、読書週間でのスタンプラリー等を実施し利用率の向上に努め、図書館の利用総登録者数及び貸出冊数ともに増加している。引き続き読書機会の充実を図り、ご提案の件も含め幅広く検討していく。

湯口 かをる

- 町の農業の将来的な取り組みについて
- ポケットパークの整備について
- 運転免許返納者の支援策について



町の農業の将来的な
取組について

農業従事者の高齢化・後継者不足による遊休農地や耕作放棄地が進み、町の農業の将来が危惧される中で、町外から7社が農業参入している。農業参入による雇用拡大の現状と既存の農家の所得向上につながる農業振興策と町の将来的な農業振興対策について、お尋ねする。

町長

企業 農業法人の参入は農業
6社・酪農1社・肉用牛303頭の
7社が参入し、常時雇用者数は
86人となっている。なかには、
今年度「丸果石川中央青果」が設
立した、農業法人「ファーム菜
四季」が参入し、生産から販売
までを一貫して行う、新たな農
業モデルとして期待しており、
異業種などからの参入は、担い
手不足による耕作放棄地の解消
や雇用拡大にもつながるものと

ポケットパークの
整備について

考えている。独自の支援策として青年就農者への農業経営支援、農業機械の導入支援、ほ場条件の改良・農地集積など、農業に取り組みやすい環境づくりを推進し、引き続き地域と生産者団体が一体となって、担い手の育成や耕作放棄地の解消に努めていく所存。

根本のポケットパークから眺める七尾北湾を背景に建つぽら待ちやぐら、内海の波静かな中居湾に建つぽら待ちやぐらは、穴水町の観光スポットとなっている。ポケットパークの古くはなっているトイレの整備や周辺の環境整備について、お尋ねする。

運転免許返納者の支援策

近年、高齢運転者による悲惨な交通事故が多発し、運転免許証の自主返納者が増加している。町内の自主返納者に対して、生活に不便を感じていないか等の、状況把握が必要かと思う。地域で生活する高齢者の要望をアンケート等を実施する等、今後の

当町においても、自主返納者が増加してきており、平成28年度では29人でしたが、平成29年度47人、平成30年度46人、今年度は8月末で23人の方が返納している。昨年度途中からアンケート調査を実施しており、25名の方より回答を頂き、返納者の住まいは、穴水地区16名、住吉地区6名、甲地区2名、諸橋地区はゼロで、穴水地区以外では返納者が少ないことから、市街地以外では、公共交通の不便さもとより、農作業に従事する方が多く、車が日々の生活に欠かせないことが理由の一つに挙げられると思われる。

又、国の取り組みの一つに、小型車や軽自動車に代わるスライドの出にくい超小型電気自動車の普及に向けた検討が始まった。

自主返納者を含めた高齢者の移動手段のあり方についてだが、今年度中に行われる「第2期六水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」計画策定に伴う住民アンケートで路線バスや外出支援バスのあり方も含め、対応を検討させて頂きたい。

●穴水町空き家バンク情報整備事業の在り方

佐藤 豊

空き家バンク情報整備事業について

9月2日の時点で町のホームページでの登録物件は4件。以前はもっと多くあったが、掲載されていない物件は売買もしくは賃貸されたのか？この事業は誰がどのように運営を行い誰が主体责任者となっているのか？

政策調整課長

運営は町が行っており、所管、担当は政策調整課である。現在、掲載されていない物件は、売買契約又は賃貸借契約が成立したもの若しくは所有者の意向により取り下げたもので、それらの物件情報は、所有者からの申請により、随時、削除するなどホームページの更新作業を行っている。

この事業の補助金制度について問う。1番目、登録奨励金について「仲介又は斡旋により情報

登録がされた場合、情報提供を行った町会等に奨励金を交付します。」とあるが個人が情報提供された場合は奨励金の交付はあるのか？

2番目、空き家改修費補助金について、補助対象経費の2分の1、上限が100万円、3番目、空き家財道具等処分費補助金について、補助対象経費の実費負担相当分、上限が15万円。2番目、3番目ともそれぞれの補助金交付申請書に基づき申請を行うとあるが、どなたが審査を行い、交付決定をするのか

政策調整課長

空き家件数の把握の方法が、区長及び町内会長への聞き取りによるものであること、また、町



と地区が一緒に協力して取り組むことを目的として定めたものであることから、個人からの情報提供に対しては、奨励金の対象としていないのが現状。政策調整課において、次に補助対象となるかを確認したうえで、交付の可否について、事務執行規則に定めるところにより決裁を受け、交付の決定をしている。

空き家改修費補助金及び空き家財道具等処分費補助金の誓約書兼同意書について伺います。誓約書では、①本補助金により改修又は家財道具等を処分した空き家を、本補助金の交付を受けた日から5年以内に譲渡し、交換し、貸付又は担保に供しませんが、②補助事業の対象となる空き家に住所を移動し、5年を超えて移住します。③上記の制約事項に違反又は事実と相違することがあったときは、穴水町の指示にしたがい、交付を受けた補助金の全部又は一部を直ちに返還します。

同意事項では、①上記の制約事項が厳守されているか確認するために、穴水町が固定資産税課税台帳、住民基本台帳に登録されている事項を閲覧することに同意します。②町税等の納付の状況を穴水町が調査することに同意します。③当該補助金の交付を受けるにあたって、必要な事項及び内容について調査することに



同意します。というように、同意制約が定められてこれまでに交付申請を受け、補助交付を行った件数は何件有り、上記の内容を網羅されているのか又交付後の追跡調査を行っているのか。

政策調整課長

空き家改修費補助金は、平成30年度に1件、空き家財道具等処分費補助金については、平成30年度に3件、本年度に1件交付している。なお、交付については、補助金交付規則及び交付要綱の定めにしたがって交付いたしており、交付後の定住の状況等についても、年1回定期的に確認を行っている。

山本 祐孝

- 町内主要地方道の道路整備について
- 監査委員の指摘事項等の対応について
- 波志借の光琳寺保育園について
- 穴水中学校等の環境整備について

町内主要地方道の道路整備について

主要地方道能都・穴水中の岩車・鹿波間の椿崎地区の道路拡張工事、珠洲穴水線（藤巻・梶）道路改良工事に関して道路管理者は県ではあるが、穴水町民・地域住民の主要な生活道路でありますので、その整備・改良促進について、石川町長のお考えをお聞きたい。

町長

ご質問の2路線については、石川県が管理する「主要地方道」でバス路線であるなど、地域住民の日常生活を支える大変重要な道路であると認識している。しかしながら、2路線とも道路幅員も狭小な未改良区間も見受けられ、冬期間における車両通行の安全性や集中豪雨時の路片の決壊等による通行規制等も懸念されることから、引き続き石川県に対して粘り強く要望をしていく。

監査委員の指摘事項等の対応について

各課の補助事業の申請から認可、新規事業や起業に対する補助金支出の問題点などが指摘されている。そして、「補助金の交付に必要な審査能力がない」、「恣意的な運用の結果が是正されていない」などの状況が、今後の補助金事業へ悪い影響を及ぼし、町への不信任、補助金事業の存続の可能性を損なっている主原因であると指摘されている。厳しく指摘されたいくつかの事項について、どのように対応されるのか。

総務課長

決算審査特別委員会において、



決算に基づく主要事業などの内容について、審議いただく予定でございますので、そのご意見と合わせ、これまで同様に補助事業の効果や必要性を分析し、見直しや継続性を含め、今後の事業実施に反映できるよう、改善してまいります。

光琳寺保育園の裏山の崖崩れなどが危惧される問題について

光琳寺及び保育園の裏山について関係者が心配する状況がある。年少の子どもたちを災害から守り、安全安心な環境を確保していくことが求められていると思う、町当局のお考えをお聞きたい。

基盤整備課長

土砂災害から生命を守る為、災害情報の伝達や避難がいち早くできるように警戒避難体制の充実に努めており、昨年8月末の土砂災害警戒情報発令時に向洋小学校にいち早く避難を行って頂いたところ。背後斜面の崩壊対策としては、急傾斜地崩壊対策事業などがありますが、採択には崖高や受益等の制約もありますので地域住民皆様と相談させていただくとともに県への要望を行ってまいります。

穴水中学校等の環境整備について



穴水中学校のグラウンド及び隣接する町民テニスコートの照明設備設置について将来の町の状況、将来の子どものたちの状況も考え、子どもたちの活動を保障するために照明設備が必要ではないかと考えるが、町のお考えをお聞きます。また、穴水中学校のグラウンドの水はけが非常に悪くなっており、これにどう対処するのか、また、テニスコート前の駐車場の整備についてもどうされるのか、併せてお聞きます。

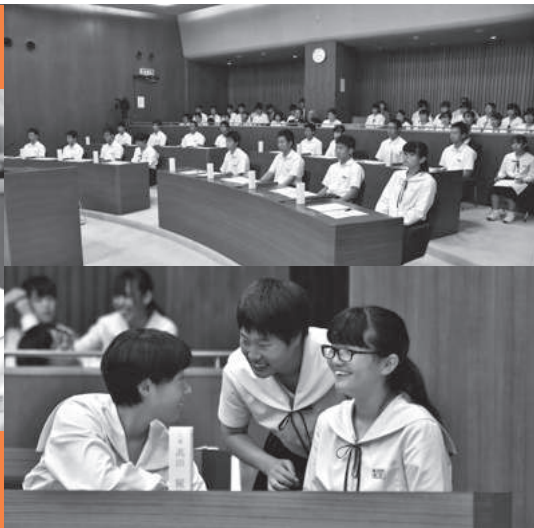
教育委員会事務局長

照明設備の整備であるが、教職員の負担軽減や教科指導に取り組む時間の確保に加え、部活動を通じ生徒のニーズに応じた技能の向上を図ることも重要であることから、幅広い観点から必要性について検討する。また、グラウンドの水はけが悪いとのこと指摘については、現状を把握の上、対応を検討する。次に、テニスコート前の駐車場の整備については、今後舗装を行い駐車場として整備する。

中学生議会



議長 星野 遥音
副議長 黒詰 小夏
書記 金谷 光姫
書記 西田 天音
挨拶 米里 彩



令和元年 10 月 1 日に穴水中学校の 3 年生の皆さんによる行政に対する一般質問が行われました。議長の議事進行をはじめ 15 名の中学生から活発な質問がなされました。

1 番
泉 恭悟 議員

今、貧困や飢餓が世界で大きな課題となっています。穴水町では世界に向けて、どのような取り組みを行っているのですか。また、穴水町の貧困の人たちに向けて、町ではどのような取り組みを行っているのですか。

答弁者 / 住民福祉課長

募金の一部を海外で発生した災害や紛争による被害者への医療支援などを間接的に支援しています。町の低所得者世帯に対する取組みは学校の教材費等に対する支援や介護を要する高齢者や身体に障害のある方の住宅をリフォーム経費を助成することで、安心して快適な生活ができるよう務めています。

2 番
中山 昂紘 議員

日本では、高齢化が進んでいます。にもかかわらず介護士が不足しているのが現状です。穴水町では、介護士の不足に対してどのような取り組みを行っているのですか。また、未来に向けてどのような対策を考えているのですか。

答弁者 / 住民福祉課長

町では、平成30年度から介護従事者就職促進奨励金制度を設け、石川県や関係機関・団体等との連携を図り、人材確保対策と併せて、事業の周知・啓発に努めているところ。今後も人材確保に向け町や事業所が協働で、安心してすこやかに暮らしやすい高齢者福祉の推進に努めていきます。

3 番
三柳 遥暉 議員

日本の教員は海外に比べて、仕事時間が長いということが大きな課題となっています。穴水町では現状をどのように捉え、未来に向けてどのような対策を考えて取り組んで行くのですか。

答弁者 / 教育委員会事務局長

教職員の負担軽減を図るため、小・中学校に特別支援教育支援員を9名、英語支援員を2名、ICT支援員を1名、図書支援員を1名、中学に部活動支援員を1名、さらに、小中に1名ずつ校務支援員を配置し多忙化改善を図っているところ。生徒の皆さんへのより良い教育環境を提供できるよう、学校現場と一体となり取り組んでいきます。

4 番
中村 心夏 議員

世界では、パワハラやセクハラなどのハラスメントについて大きな問題になっています。穴水町ではハラスメント防止について、どのような取り組みをしているのか。また、相談しやすい職場環境なのか。未来に向けてどのような対策を考えて取り組んでいるのですか。

答弁者 / 総務課長

相談しやすい職場環境づくりとして、常日頃から、職員同士がお互いの変化や行動に目配りをし、上司や同僚を通して伝えられる環境づくりを積み重ねることにより、未来に向けたハラスメントの無い社会の構築が出来るのではないかと考えています。

5 番
古道 勘太 議員

穴水町では、少子高齢化による人口減少が大きな問題となっています。穴水町では現状をどのように捉え、未来に向けてどのような対策を考えて取り組んで行くのですか。

答弁者 / 政策調整課長

「穴水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に沿って様々なまちづくり施策を実施しており、本年度第2期の計画を策定中であり、今後とも「住む場所、働く場所、遊ぶ場所、憩う場所」の整備はもとより、災害に強い安心、安全なまちづくりに向けて町民が「住み続けられるまちづくり」になるようにしていきます。

6 番
摩郷 孝明 議員

穴水町も労働力人口の減少が大きな課題となっています。少しでも労働人口を増やすために他の企業を誘致したり、AIなどを活用して地域産業を活性化してはどうかと対策を考えてみました。スマート農業についても穴水町の具体的な対策をお聞きます。

答弁者 / 産業振興課長

中小企業等が労働生産性の向上を目的にAI等の先端設備の導入に対しては、税制措置や金融支援制度を設置し促進を図っているところ。スマート農業は、県内では白山市の1地区、大区画ほ場地区で導入されています。農業者との話し合いを通じ取り組んで参りたいと思っております。

7 番
湯口 僚太 議員

世界では、外国同士戦争をしている国があります。また、日本と韓国の関係も悪化していることも大きな問題。昔の戦争を忘れないようにすること、外国人との関係を築く機会を作ることにについて、具体的にどのような取り組みをしているのですか。

答弁者 / 総務課長

県内19自治体において、原爆写真ポスター展等の実施をしています。外国人相撲大会の実施や、最近ではロシアテコンドーチームの合宿受け入れ、また毎年ジャパンテントの受け入れをし、今年度もホームステイをしながら日本の文化等に触れ合ってもらいました。

10 番
小林 公輝 議員

金沢市では「フードドライブ」という家庭で余った製品を捨てず、食べ物に困っている方に提供する取り組みを行っています。穴水町ではこのような取り組みをしていますか。僕たちが考えた取り組みで、高齢の方に食品を配布することで、食事にかかる費用を医療に費やせるのでは無いでしょうか。

答弁者 / 健康推進課長

「特定非営利活動法人いしかわフードバンク・ネット」が設立され町の社会福祉協議会がこの組織に参加、事業を推進しております。このしくみが広く定着すれば、議員のご提案が実施できると期待しているところです。

13 番
山崎 勇太 議員

穴水町では、地域間に格差があるように感じます。EUの様に他の地域と協力し、経済面を助け合う意向はあるのでしょうか。この問題について、現状をどのように捉えていますか。

答弁者 / 総務課長

定期バス路線の運行や道路・水道整備、教育・医療・福祉、地域コミュニティ支援など行政サービスの提供において、合併しなかった小さな自治体ならではの格差の無い行政を進めさせて頂いています。輪島市と共同し、環境衛生事業共同事業を行い事業の円滑化や効率化、事業費の抑制にもつながり、様々な効果はあるものと実感しています。

8 番
高田 麗依 議員

日本では、少子高齢化が大きな課題。高齢者の車の事故が多発していることがまた一つの課題となっています。町はこの問題をどのように考え、どのような対策をとろうとしているのでしょうか。

答弁者 / 生活環境課長

市街地以外では、農作業をする方が多く車が活に欠かせないことで返納者が増えません。安全運転支援機能を備えた車両に対する、補助制度についても検討していき今年度中に行われる「第2期穴水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画策定に伴う住民アンケートを行い、路線バスや外出支援バスのあり方も含め、対応を検討します。

11 番
殿田 大和 議員

最近では、台風により首都圏およそ93万軒停電が起き、ライフラインが止まってしまいました。穴水町で同様な事が起こり、ライフラインが止まった場合、どのように対応し、住民の安全を確保するのですか。

答弁者 / 生活環境課長

上水道、電気どちらも被害の全容と原因の把握を最優先事項として調査を行い、原因はどこにあるのか実態を明確にすることが重要。復旧が長期化するようであれば、避難所を開設、熱中症対策や寒さによる体調不良を未然に防ぐこと、必要に応じ医療関係者を派遣することも念頭において防災対応に取り組めます。

14 番
菅原 みゆき 議員

穴水町では、看板の設置やレジ袋の有料化などで対策をしていますが、プラゴミゼロに向けて、今後どのような独自の対策をしていくつもりですか。

答弁者 / 生活環境課長

当町の波静かな海と緑豊かな森林が広がる美しい景観を守るため平成22年に中学生議会の提案を受け、穴水町環境美化条例を制定し、毎月25日をエコクリーンの日と定め、同時に町内の小中学生を対象に毎年環境美化コンクールを行い「標語」と「ポスター」を募集。今後もこれらの取り組みを行い、応募作品を多くの町民に見て頂き、問題に関心を持ってもらうことが必要であります。

9 番
野畑 琴貴 議員

全国的に、猪や熊などによる被害が大きな課題となっています。もしこのような動物が新種の感染症にかかった場合の対策や、その感染症により農作物への被害が発生した場合どのような対策を考えているのですか。

答弁者 / 産業振興課長

奥能登地域は、捕獲檻に入った野生いのししから採血して感染調査をしており、当町ではこれまでに4件を検査しましたが全て陰性で現時点では奥能登への侵入は確認されておりません。石川県はいのしし侵入防止柵の設置支援を行い対策を講じております。

12 番
彦田 拓輝 議員

日本の労働者の労働時間は、国際的に見ても、長いということが分かりました。町は働き方改革について、どのように捉えて、どのような対策を考えて取り組んで行くのでしょうか。

答弁者 / 産業振興課長

「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」や「育児や介護との両立、働く方のニーズの多様化」などの状況の中、就業機会の拡大や能力を存分に発揮出来る環境を作ることが重要な課題。商工会と県の主催で、町内事業所を対象に「働き方改革セミナーや相談会」を開催し、国・県・町が一体となって、一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目指しております。

15 番
村田 拓之 議員

穴水町では、気候変動に対する人々の関心の低さに対して具体的にどのような対策が実施出来ると考えているのでしょうか。

答弁者 / 生活環境課長

今年度初の試みとして、幅広い年齢層を対象に「3R大作戦！」“今一度、見つけ直そう環境のこと”と題し、環境と廃棄物についての環境美化推進イベントを8月末に開催し講師に、石川県地球温暖化防止活動推進員の方を招き地球温暖化防止イベントを行いました。来年度以降も引き続き開催するほか、様々なイベントなどを通じ啓発することで、町民の皆様の理解を深めていきたいと考えております。

議会の主な動き～行事内容



長谷部まつり

7 月

- 1 日 社会を明るくする運動
- 4 日 参議院議員通常選挙公示
- 5 日 穴水消防団甲分団壮行式
- 14 日 長谷部まつり
- 21 日 参議院議員通常選挙投票日
- 27 日 穴水消防団甲分団県大会出場
- 30 日 担当議員・職員研修
「広報クリニック」



カフェ・ローエル

8 月

- 1 日 第 3 の居場所内見会
- 2 日 第 68 回石川県戦没者慰霊式
- 10 日 北陸新幹線建設促進石川県民
会議令和元年度総会
- 19 日 富山県舟橋村視察
- 22 日 ジャパンテント歓迎
レセプション
- 27 日 議員・監査委員・職員研修
「津幡シグナス」



大町・川島祭り

9 月

- 4 日 議会定例会（開会）
- 6 日 能登穴水聖蹟園敬老会
- 10 日 議会定例会（一般質問）
- 13 日 議会定例会（閉会）
- 23 日 第 74 回国民体育大会
石川県選手団激励会
- 29 日 敬老会（曾良・大郷、穴水、住吉、
諸橋、宇留地）

編集後記

7 月後半より 9 月中旬頃迄、毎日 30 度以上の猛暑に心身共に耐え忍んで過ごしました。

毎日が熱中症対策でした。自宅のすぐ向かいの旧向洋中学校グラウンドに県のドクタヘリが 3 回着陸し、消防救急隊と連携して対応していました。

パイロットの方とお話出来る事があり、要請があればすぐに飛んできますとの力強いお言葉で有りました。

10 月に入り、秋の季節を感じる、住み良い季節になってきました。

皆様の健康と活躍を願い編集後記と致します。

（文責：山本 祐孝）

穴水町議会広報編集特別委員会

委員長 / 佐藤 豊 副委員長 / 山本 祐孝
委員 / 吉村光輝 湯口かをる

会議を傍聴できます！

各常任委員会・議会運営委員会及び全員協議会の会議の傍聴をご希望の方は、日程をご確認の上、議会事務局までお申し込み下さい。（※会場の都合により定員は 10 名とします。）

穴水町議会事務局

TEL 0768-52-3700 FAX 0768-52-3610

Mail gikai@sec.town.anamizu.ishikawa.jp

穴水町議会だより

発行 / 穴水町議会 編集 / 穴水町議会広報編集特別委員会
〒927-8601 石川県鳳珠郡穴水町字川島ウの 174 番地 TEL 0768-52-3700
URL <http://www.town.anamizu.ishikawa.jp/gikai/gikai.html>